

関西学院高等部・中学部  
私立学校における部活動の  
新しいプラットフォーム(関学モデル)の構築





## 働き方改革

他の様々な取り組みも踏まえた上で、部活・行事には抜本的な仕組みの見直しが必要

## 部活動の教育的価値

生徒・保護者の期待値も高く、学校としても教育的価値を置いている部活動の維持

## 部活動の地域移行

公立の地域移行を踏まえ、私学として持続可能な部活運営の仕組み構築

関西学院 独自の改革が必要

# 事業概要



類型

C、D類型(学校法人×オープン,特定)

事業者

関西学院高等部・中学部

他連携先

スポーツデータバンク

実証自治体/学校

関西学院高等部・中学部

概要

私立学校の新しい部活動の形として、外部に何らかのプラットフォームを持ち、そこへ部活動を移行していくことを検討。将来的には、地域に対して、オープンな場にするこ  
とまで検討

# 目指す姿



関西学院

コンテンツ  
プロバイダー

運営・管理  
施設・学生の提供  
教員の副業・兼業

会費収入  
事業収入

**SPORTS DATA BANK**  
Sports Data Bank Group



コンテンツ  
の提供

関学型プラットフォーム

学校施設の活用



部活動地域移行の  
受け皿



学校施設を活用した  
諸事業

- 地域の人向けの  
スクール 等

寄附金収入



他校まで  
展開した場合

連携を  
検討



西宮市



スポンサー料  
の支払い



地域企業

部活動  
として参加  
(関学生徒)



会費の  
支払い



関学生徒  
(他校生徒)

サービスの  
利用



利用料の  
支払い



地域の人々

# 検証ポイント



**【検証①】**  
学校部活動  
としての  
位置づけの  
明確化

**【検証②】**  
私学としての  
新しい  
プラットフォーム  
の検討

# 検証ポイント



## 【検証①】 学校部活動 としての 位置づけの 明確化

- 教育的価値を提供するために  
教員が関わるべき職務範囲の明確化
- 部活動にも熱心で技術指導を継続したい  
教員が指導を続けていける仕組みの構築
- 事故等の管理責任範囲の整理
- 大会参加資格の整理  
(中体連や高体連の制度と目指す姿とのギャップの整理)



# 検証ポイント

- 検証①を経て私学としての新しいプラットフォームについて検討
- 各部活動における現在の活動費の見える化（学校予算以外での徴収等）
- 外部指導員等を雇用する場合の資金計画の検討
- 受益者負担の実施可否の検討
- 指導者の質担保と教員の兼職兼業の整理

**【検証②】  
私学としての  
新しい  
プラットフォーム  
の検討**



## 4-①. 学校部活動としての位置づけの明確化 詳細

### 検証ポイント

- 教育的価値を提供するために教員が関わるべき職務範囲の明確化
- 部活動にも熱心で技術指導を継続したい教員の受け皿の構築

もっとも重要な「授業（教育）」の時間（質・量）は変えることができない前提

### 現状

授業

その他校務

部活動  
生徒指導

部活動  
技術指導

現状：教員がすべてに対して全力で働かれている状況

部活動に関する職務範囲を明確化する

### 理想

授業

その他校務

部活動 生徒指導

技術指導

理想：校務は機械化・効率化により減少。技術指導の部分は極力、外部化をはかる。

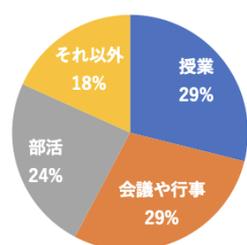
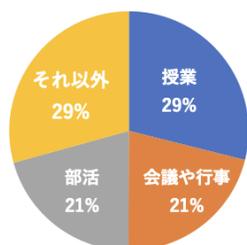
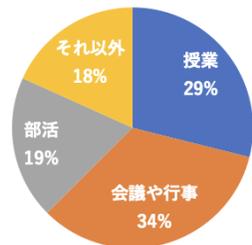
### 💡 教員の兼職兼業のゴールイメージ

労働時間は平等（職務毎の割合は任意で操作可能）＝教員の負荷が削減され、目指す教育が行える状況

行事・分掌メイン

バランス型

部活メイン



「技術指導」をしたい教員に対してどう考えるか？  
（将来的には副業としての実施）

▶今年度：

ニーズ調査の実施、勤務体制（職務の範囲）の制度設計



## 4-①. 学校部活動としての位置づけの明確化 詳細

### 検証ポイント

- 教育的価値を提供するために教員が関わるべき職務範囲の明確化
- 部活動にも熱心で技術指導を継続したい教員の受け皿の構築

### 技術指導を続けたい教員の受け皿構築には、教員の兼職兼業の制度設計が必要

#### 本学の現状と課題

- 職務規程に「生徒指導・部活動における指導職務」と記載があり、教員の職務として位置付けている
- 一方で、この職務の「部活動」の範囲が明確化はされていない
- 試合帯同にて「教員」が必要な種目もあり、国（中体連・高体連）の制度が整備されるまでの顧問の役割を検討

### 職務の範囲の明確化が必要

#### 本事業におけるゴール

- 部活動の技術指導は原則教員の職務外の活動とする
- 試合帯同等は、国（中体連・高体連）の制度が整備されるまでは顧問としての「職務」とする

#### 調査・検討内容

- アンケート調査の実施によるニーズ調査
- 制度設計に必要な事項の抽出および課題の整理
- 必要に応じて専門家へヒアリング調査を実施

#### 【今年度】

**職務の範囲の明確化ならびに  
兼職兼業の制度設計を目指す**



## 4-①. 学校部活動としての位置づけの明確化 詳細

### 検 証 ポイント

- 事故等の管理責任範囲の整理
- 大会参加資格の整理（中体連や高体連の制度と目指す姿とのギャップの整理）

大会参加資格の整理は、国（中体連・高体連）の制度にあわせて実施。  
移行期間においては以下の手法にて実施することを想定。

現状	想定される課題
<ul style="list-style-type: none"><li>● 学校教員による大会運営（審判の実施含む）</li><li>● 外部指導者がいる場合にはコーチ登録等を行う</li><li>● 顧問教員または部活動指導員による大会引率と現地活動</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 競技によって教員によるコーチ登録や引率が必要な競技がある（部活動指導員は不可のケース有）</li><li>● 教員による大会運営等は学内で整理ができない</li></ul>

### 移行期間における手法

- 教員の職務に「顧問」は残し、教員の対応が必要な種目・大会においては対応
- 部活動指導員による帯同等が可能な種目においては、外部指導員が対応
- 大会における申請手続き等については、今後検討

### 【今年度】

現行の大会参加における規則・規定を調査し、「部活動指導員」でも対応が可能か、「教員」でないと対応が難しいかを種目・大会ごとに抽出し、「部活動指導員」での対応が可能な種目に関しては、部活動指導員が対応。

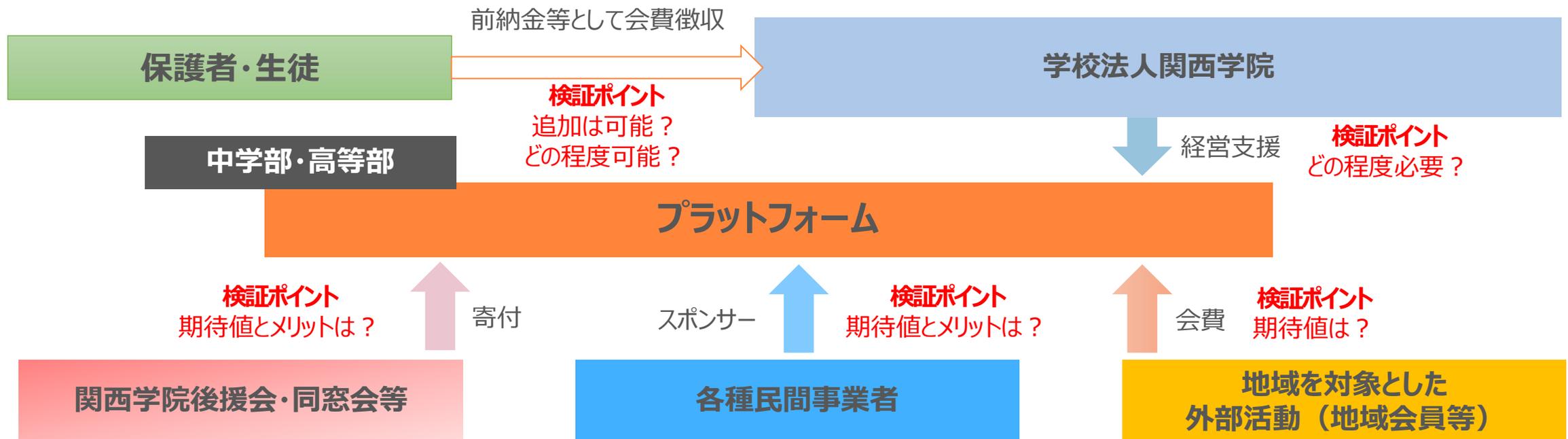


## 4-②.私学としての新しいプラットフォームの検討 詳細

### 検証ポイント

- ・ 各部活動における現在の活動費の見える化（学校予算以外での徴収等）
- ・ 外部指導員等を雇用する場合の資金計画の検討
- ・ 受益者負担の実施可否の検討

持続可能な活動を行うために必要な収益の確保については、「会費収入」「寄付」「スポンサー契約」の3点を主な収入源として想定。なお、「会費収入」については、本生徒からの会費と新しいプラットフォームにおける外部活動としての可能性も検討。その他、部活動に係る教員出張費や部活動指導員委託費等は、一部学院からの「経営支援」を想定。





## 4-②.私学としての新しいプラットフォームの検討 詳細

### 検証ポイント

- ・ 各部活動における現在の活動費の見える化（学校予算以外での徴収等）
- ・ 外部指導員等を雇用する場合の資金計画の検討
- ・ 受益者負担の実施可否の検討

課題としては以下を想定。

	想定する収入源	課題点
会費収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学部・高等部が代理で徴収し、経営支援として法人へ支払う</li> <li>・ プラットフォームにおける外部活動の可能性も検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校生徒からの徴収は難しい 全校生徒向けの各種講座等の実施を検討</li> <li>・ 保護者への負担は変更しない仕組み</li> <li>・ 部活動毎の「部費」についての取り扱いの検討が必要</li> <li>・ 課税・非課税の整理が必要（外部活動時）</li> </ul>
寄付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関西学院後援会や同窓会等からの寄付による確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各団体への説明が必要</li> <li>・ 寄付に対する意義とメリットの打ち出し</li> </ul>
スポンサー契約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内・県外の民間企業等からのスポンサー契約による確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポンサーにおける企業メリットの打ち出し</li> <li>・ スポンサー企業の確保の仕組み検討</li> </ul>

	調査内容	調査対象
アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の各部活動の予算及び保護者負担（別途）額の調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員、保護者</li> </ul>
ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関西学院後援会や同窓会等への寄付の可能性における調査の実施</li> <li>・ 民間事業者によるスポンサーメリットとその可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関西学院後援会、同窓会</li> <li>・ 各社連携民間事業者</li> </ul>

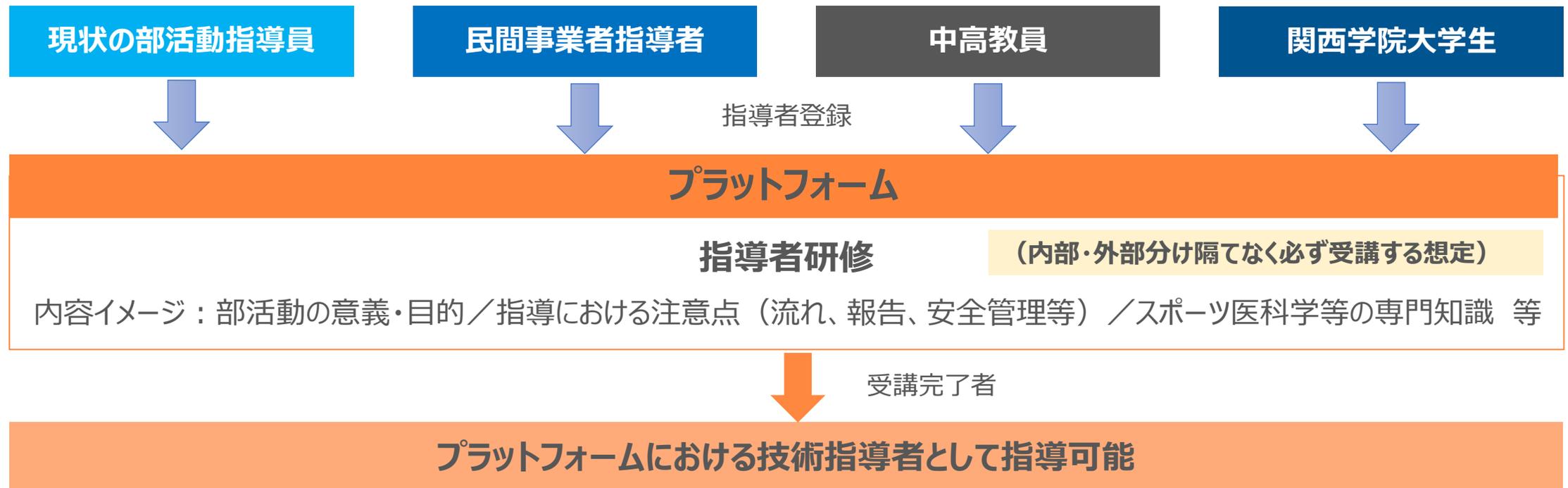


## 4-②.私学としての新しいプラットフォームの検討 詳細

### 検証 ポイント

- 指導者の質担保と教員の兼職兼業の整理

指導者の質の確保については、研修を実施することを想定する。



### 【今年度】

- 現行の研修内容の整理と過不足点についての検討を行い、指導者研修のベーシックを確立する